

共生・公正・創造



# 東日本タイムズ号外

<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~JRTU-HWU/>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

## 【シリーズ7】

# 自称、世界に冠たる普通の労働組合・JR東 労組の異様な『特別記念日』

以下は、2004年版「JR東労組手帳」に現に掲げられている東労組記念日から「普通の労働組合」の選定基準としては深く首を傾げざるを得ないものを選んで羅列してみたものである。

- \* 2月10日 加瀬勝弘氏を偲ぶ日
- \* 2月12日 荒川一夫氏を偲ぶ日
- \* 3月 3日 松下 勝氏を偲ぶ日
- \* 5月28日 湯原正宣氏を偲ぶ日
- \* 6月30日 花岡事件の日
- \* 7月 5日 謀略・下山事件を許さない日
- \* 7月15日 冤罪・三鷹事件を許さない日
- \* 8月17日 冤罪・松川事件を許さない日
- \* 9月16日 平頂山事件の日
- \* 10月31日 背信を忘れない日
- \* 11月 1日 大弾圧を忘れない日
- \* 12月 2日 田中豊徳氏を偲ぶ日
- \* 12月13日 南京事件の日

「...氏を偲ぶ日」の対象者は、中核派若しくは革労協（狭間派）による内ゲバ襲撃事件で死亡した国鉄・JR労働者である。

「背信を忘れない日」は、嶋田邦彦氏以下JR東労組本部役員8名が一斉辞任した日。

「大弾圧を忘れない日」は、浦和電車区<組合脱退・会社退職>強要事件の強制捜査が行われ、東労組大宮地本副委員長・梁次邦夫氏ら7名が逮捕された日である。

その他の「記念日」についても言うべきことは山ほどあるが、これ以上コメントする気になれない。

こんな異様な「特別記念日」が印刷されている「組合手帳」を組合費で作成・配付することができる労働組合。そしてこんな異様な「組合手帳」に、異論も反対意見も一切出ない労働組合。執行部の企画、執行部のしたいこと、やりたいことがそのまま「組合員の総意」の美名の下に完璧に行われる労働組合。役員同士が騒動を起こし、役員層だけで喧嘩、妥協を繰り返し、一般組合員は「組合費は一種の保険料」と考え、動員に応じ、組合行事へも参加はする。しかし公式場面においては、百害あって一利もない組合批判など一切しない。本音は絶対に吐かない。これが自称「世界に冠たる普通の労働組合・JR東労組」の実像である。

JR東労組の異様な「特別記念日」は、それを如実に照明している、というのが私の見解だが、異議あるならば、東労組役員及び一般組合員の反論を大いに期待し、歓迎する。

<JR東日本労政『二十年目の検証』33ページから35ページより抜粋>

# 民主化の声・声・声...

2005.10. 3 その7

## 青年部定期委員会で、部長選挙！

東労組機関紙「緑の風9月15日号」によると、本部青年部第20回定期委員会（8月28日～29日・群馬県水上町観光会館）で青年部長選挙があったようだ。

| 東労組A組（本部派）と                           |    |      |    | 東労組B組（内なる敵）？ |    |     |    |
|---------------------------------------|----|------|----|--------------|----|-----|----|
| 黒田 弘樹（東京）                             |    | 136票 | 当選 | 阿部 洋志（新潟）    |    | 21票 | 落選 |
| 経過報告                                  | 賛成 | 136票 |    | 経過報告         | 反対 | 21票 |    |
| 会計報告                                  | 賛成 | 136票 |    | 会計報告         | 反対 | 21票 |    |
| 活動方針                                  | 賛成 | 136票 |    | 活動方針         | 反対 | 21票 |    |
| 予算案                                   | 賛成 | 136票 |    | 予算案          | 反対 | 21票 |    |
| スローガン                                 | 賛成 | 136票 |    | スローガン        | 反対 | 21票 |    |
| < 盛岡・秋田・仙台・高崎・大宮・水戸・千葉・東京・横浜・八王子地本票 > |    |      |    | < 新潟・長野地本票 > |    |     |    |

は筆者注

第20回本部青年部定期委員会で、長野地本が「内なる敵」にされてしまったことは既報の通りであるが、本部青年部長選挙でも新潟地本の阿部青年部長が立候補し惨敗したようだ。また、質疑においては、議長が新潟・長野からの委員の質問は認めず、採決は経過報告からスローガンまでことごとく東労組A組（本部派）と東労組B組（内なる敵）は、真っ二つに割れたようだ。

「本部VS新潟・長野」の構図は青年部まで波及し、修復不可能なところまできている。労働組合の崩壊は、青年部の暴走か分裂から始まることは過去の歴史が証明している。未来を担う青年部が、このまま突き進んでいくとすると、東労組の組織崩壊は近いのでは。

ヒートアップする東労組の内部抗争ではなく、自由にモノが言える職場をみんなで作ろう。

**内部抗争で明け暮れる東労組の崩壊は近い！！**

民主化の声・声・声...（続く）